

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	計画の実現に向けて
基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
基本施策名	方針5 健全財政の堅持

	所属	職名	氏名
作成者	契約検査課	課長	山浦慎司
評価者	総務部	部長	久保田剛生

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	130万円以上の工事、100万円以上の業務委託、80万円以上の物品購入について、指定検査員により関係書類に基づき検査を行う。300万円以上の建設工事について、工事成績評価を行っている。
基本方針 (目指すべき方向性)	累積滞納額の縮減と新たな財源確保を進めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう歳出予算を継続的に見直し、健全財政の堅持に努めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
市税現年収納率	%	99.2	99.2	99.3	99.3	99.3	100	予定以上	収納課
実質公債費比率	%	9.6	12.3	9.3	9.5				財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0102025	検査管理費	検査係	31,897	161,598	39,050			232,545	定型業務	継続	A	現状のまま実施することが適切	2.24	
合計				31,897	161,598	39,050			232,545						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	技術系職員の技術向上と質の高い工事施工を求めることを目的に、技術系職員現場研修会を開催した。この研修会により、工事発注に従事する技術系職員のスキルアップを図ることができた。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	建設工事等のしゅん工が年度末に集中すると、検査量が増加し複雑となる恐れがあるためしゅん工時期の平準化が必要であります。技術系研修会等の機会を捉え、建設工事等の早期発注及び、年度末におけるしゅん工の集中を回避する観点から、しゅん工時期の前倒しに取組む依頼を継続して行います。